



# 城だより

第668号

日本古城友の会・会報

令和6年(2024)8月4日発行

## 播磨 三木城と城下町を訪ねる (9月・第731回例会)

本来9月例会は備前下津井城を貸切バスを利用して訪れる予定でしたが、バス会社から法令により日帰り往復500kmを超えるため受諾出来ない旨連絡があり、役員・幹事で協議した結果、下津井城への見学会は中止し、播磨三木城と城下町を訪れることにします。9月上旬はまだまだ残暑厳しい時期なので、徒歩での長時間の移動を控えた見学コースを設定しました。

日時：令和6年9月8日(第二日曜日) 現地集合 雨天決行(行程変更あり)

集合：神戸電鉄三木上の丸駅 11:00 集合

行程：上の丸駅 ⇒ 正入寺 ⇒ 三木城本丸(昼食) ⇒ 新城 ⇒ 鷹尾山城 ⇒ 雲龍寺  
⇒ みき歴史資料館 ⇒ 三木陣屋跡 ⇒ 本要寺 ⇒ 旧小河家別邸 ⇒ 三木駅  
(解散 15:00 予定)

アクセス：往 路 阪急梅田駅(9:10 発 特急新開地行) ⇒

新開地駅(9:45 着/9:52 発 神戸電鉄粟生行) ⇒ 三木上の丸駅(10:41 着)

復 路 三木駅(15:28 発 神戸電鉄新開地行) ⇒

新開地駅(16:16 着/16:22 発 阪急梅田行) ⇒ 阪急梅田駅(16:58 着)

担当幹事：中西 徹・森田又一

持ち物：弁当(事前に準備してください)・飲物・敷物・帽子・ハイキング靴・ステッキ・タオル・  
雨具を持参してください。マスク着用は各自の判断でお願いします。

参加費：正会員・賛助会員 800 円、通信会員・当日参加者 1,000 円

(資料代・保険代・記念写真代・下見費用として)

問合せ：中西 徹 (090-6927-8538)

(開催は新型コロナ感染状況によります。必ずホームページを確認の上ご参加ください。)

### 【今回の見どころ】

三木城は、中世播磨で御着城・英賀城と共に播磨三大城の一つに数えられ、秀吉の天正6年(1578)からの2年に渡る兵糧攻めに耐え抜いた堅城です。現在は国指定史跡となり、本丸が「上の丸公園」として整備されています。本丸以外にも新城・鷹

(三木城ウォーキングマップ 三木市 HP から)



段差の壁は石垣 A（後世のもの）が積まれて、高さ 2m ほどありました。すこしくと石垣に囲まれた細い虎口があり、正面に標柱が建っておりました。左折れすると公園の様な広場があり、ここが城域では最も高い部分で、本丸（a）のように思えますが詳細はわかりません。



（石垣 A）



（虎口）



（本丸（a）と石垣 B（左側））

北西側は高さ 1.2m ぐらいの石垣 B になっておりましたが、北側から東側にかけて土塁になっておりました。曲輪 2 は本丸（a）より 1.5m ほど低くなっており、その 2m 下は畑になっておりました。側面は先ほどの段差の壁の石垣 A の延長です。見学した範囲はこれだけで、当日の城郭めぐりは終了しました。



（土塁）



（曲輪 2）



（好武城遠景）

当初、縄張り図が見当たらなかったため持参せず見学したのですが、原稿を書く際に縄張り図を見つけてそれを見ると、櫓台（c）があったり、用水路（堀跡）（b）があることがわかりました。その範囲・広さをみると、思ったより広範囲の城郭だったと思われれます。なお、比高が低いのですぐに攻められ易いように感じました。（つづく）

伊賀峰城縄張り図：長崎県中近世城館跡分布調査報告書Ⅱ 詳細編（2011 長崎県教育委員会作成）1部加筆しています

好武城縄張り図：新編 大村市史 P818 大野安生氏 作図 転載（一部加筆）

## 日本古城友の会

会長 中西 徹

事務局 事務局長 平川 大輔

HP アドレス <https://www.kojoyo-tomonokai.com/>

編集・発行 編集部長 下岡 力